

地域密着型通所介護光和堂 第2回運営推進会議

日時平成29年9月25日(月) 午後12:00~12:30・12:35~13:15

場所 光和堂通所介護 事務室

出席者

西区北部圏域包括支援センター	A様
西区南部圏域包括支援センター	B様
民生児童委員	C様
利用者ご家族	D様
ご利用者の皆様	E様
光和堂 代表	堀口
光和堂 生活相談員	横山

1 当日の次第

- (1) 開催の挨拶
- (2) 主席者の紹介
- (3) 活動状況の報告
- (4) 出席者からの活動状況の評価、要望、助言等の聴取
- (5) 意見交換
- (6) 閉会の挨拶

2 活動状況の報告 堀口・横山

当日配布資料により堀口から説明があった。4月よりスタートした事業対象者を4名受け入れ、順調に介護予防のプログラムを提供している。通所の継続とモチベーションの維持のため、養生訓の音読や発声練習をプログラムに取り入れている。また自宅での運動プログラムを各個人に合わせて教授して、日常生活の維持向上に役立つようにしている。その他横山より、ご利用者のご要望に合わせてプログラムしている提供内容やイベントの紹介をした。5年以上継続して参加されている方の運動能力の高さと、日常生活への好影響の実際など具体的に現場状況等についても報告を行った。

3 出席者からの活動状況の評価、要望、助言等の聴取

- C様・・・通所介護の実態は昨年度参加で把握する事が出来たが、民生委員として関わる上で一番苦勞している問題点は、引きこもりになっている高齢者（特に独居の男性）が多いという実態だ。引きこもっている高齢者を引き出すきっかけを光和堂も考えてほしい。
- A様・・・光和堂は心身共に元気を提供してくれて、実際に機能向上に繋がっている。今後も現状のサービスを提供して欲しい。介護の入り口に位置していると把握している。
- D様・・・光和堂は少人数だからこそそのケアを行ってくれていて、頼みの綱としている。

- B 様・・・以前より、光和堂は機能訓練に力を入れていて、任せて安心感がある。利用されている方が光和堂に通うことをとても楽しみにしている。長年の継続者も飽きずに楽しませてくれている。
- D 様・・・92歳の父が社会との繋がりを保てる安心の場となっている。運動以外も治療院ならではの灸や鍼、按摩マッサージ等で健康維持をお願いしている。
- E 様・・・光和堂で運動する事で、生活にメリハリが付き、楽しい時間を送っている。

4 意見交換

- C 様・・・実際に問題なのは、通所介護を利用できずに、自宅に引きこもりになっている高齢者（特に独居の男性）である。まずは、外に出る機会を設けたい。それこそが一番の課題である。地域差があるのはサロン開催の日数、積極的に携わるボランティアの数に偏りがある。指扇には24のサロンがあるがサロンにより温度差がある。見守り活動をするにあたっては、民生委員にも、行政におけるある程度の個人情報共有が必要である。
- A 様・・・閉じこもりの高齢者に対して、家族もどう接して良いかわからないのが原状。今後は民生委員の方の位置づけとケアマネとの情報共有が大切だと痛感する。サロンの開放、サロンの開催の詳細情報も提供して欲しい。
- B 様・・・その問題は永遠の課題であり、あらゆるサービスを紹介しても、行政が介入しても、当人がNOと拒否すれば歩み寄りが難しい。
- C 様・・・高齢者が求めているものは、難しいものではなく気楽に笑い合える場所である。食事、運動の他に参加している高齢者の自主性を重んじた提供をしていきたい。
- A 様・・・いきいき百歳体操や、万歩計の貸し出しなど、健康寿命の獲得をしっかりとサポートしていきたい。
- C 様・・・外出した時に、安心して休憩できる場所や、誰でも気軽に運動に参加できる場所など、健康を提供するサロンが定期的にかかれるように、地域で進めて行きたいと思っている。
- 堀口・・・光和堂で出きる事を課題に、今後も提供内容の質を向上させるように、きめ細かいサービス提供を維持していきたい。

5 まとめ 堀口

地域包括センターのケアマネージャー様、民生委員様、御家族様、御利用者からの現場で起きている問題点やご苦勞等の貴重なお話をお聞きする事ができた。特に地域でのサロンの開催や運動の場の提供に関しては、光和堂もできる分野で応援していきたい。今後も地域の皆様と連携しながら多くの高齢者の介護予防と自立支援に向けて、更に貢献できるようにスタッフ一丸となって努めていきたい。